

ティラノザウルスを描く山行(日連アルプス) 山行報告

日時:2月15日(日) 山行時間(休憩含む)4:55 歩行距離 13.1km △901m ▽900m

参加者:大沢、一之瀬、原田晴、原田尚、西村

コースタイム:藤野駅 9:05⇒9:35 ハイキングコース入口⇒10:10

青田山⇒10:40 ハイキングコース入口⇒11:00 日連・篠

原川分岐⇒11:25 宝山⇒11:35 日連山(昼食)⇒12:15

杉峠⇒12:20 新和田峠⇒12:40 杉峠⇒13:00 日連金剛

山⇒13:50 登山口⇒14:08 藤野駅



9:05 藤野駅を出発。30 分程歩いて、登山口に着いた。緩やかな登りだったが、張り出した尾根の先端から急斜面を登る。痩せ尾根からつづら折りの急坂



を登ると、青田山に着いた。「ティラノザウルスの口の中です」と、表示があった。来た道に戻り、途中から車道に出た。

11:00 車道を 20 分程歩き、日連アルプスの標識がある所から山

道に入った。気持ちよく歩いていたが、途中から、ロープの張ってある急登になった。尾根に出て、ホッとしたのもつかの間、再び急斜面を登り、ベンチのある宝山に着いた。休みたかったが、日連山まで 10 分程だと聞き、次の日連山を目指した。下って上り、日連山に着いた。ベンチがあり、ここで昼食にした。

11:55 山頂出発。急坂を下った後は、尾根道を進んだ。右手に相模川と藤野の街を見ながら気持ちよく歩いた。南風が強く、春一番かなと思いつつ、帽子を飛ばされないように進んだ。杉峠の分岐についた。ここから足



の部分を書く。「長すぎるよね」と、半分の距離にして引き返した。鉢岡山方面から来た団体の方に混ざりながら、杉峠に戻った。日連金剛山方面に進んだ。急坂を越え、広い山頂に着いた。金剛山神社があった。金剛山からバス停までの道も足の部分で、「10 分で下って 15 分で戻る、半分にしよう」と下り始めた。途中からはロープの急坂で滑らないように慎重に下り、少し緩やかになったところで戻ることになった。金剛山まで戻り、登山口まで下りることになった。急坂を慎重に下りた。

緩やかな下りになり、登山口に着いた。藤野駅まで車道を歩き、戻った。

「日連アルプス」というだけあって、標高のわりに、高低差が大きく、きつかったが、変化があり楽しかった。歩いた軌跡がティラノザウルスになるというのも楽しい。

紹介してくださった西村さん、ありがとうございます。

記録・写真:一之瀬



急登、急坂の連続

丹沢縦走（檜洞丸～大山）前田、杉澤

2026/2/26～28

27km 2900m 2850m

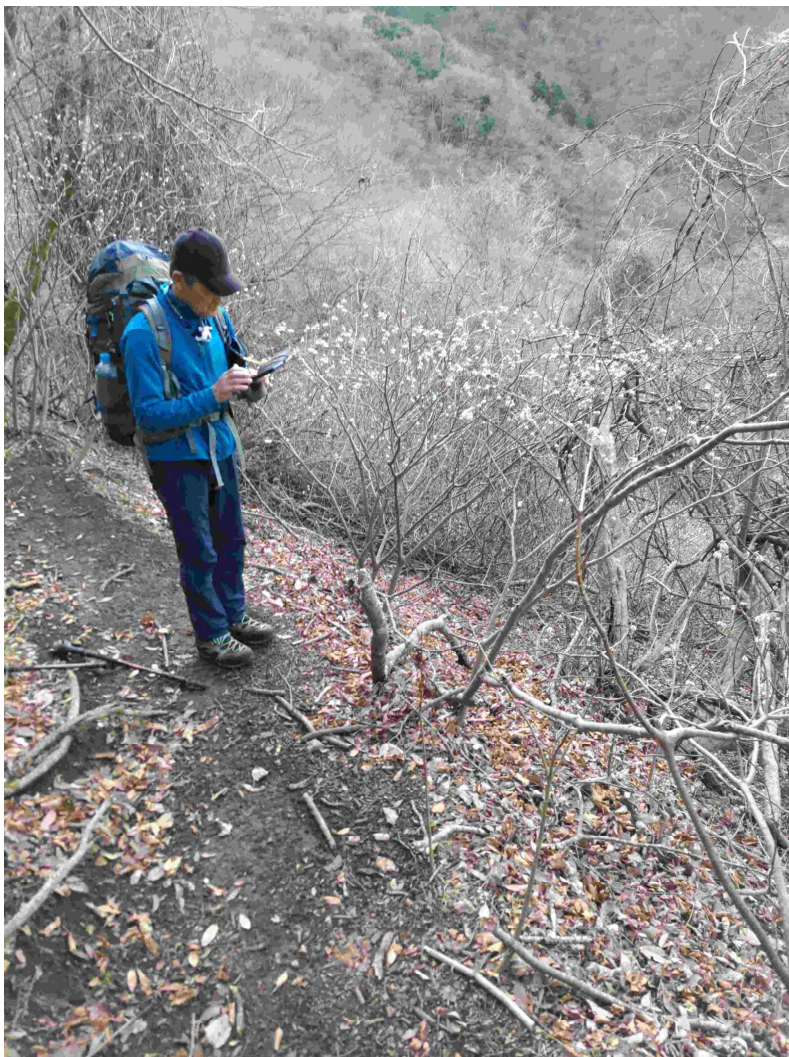
行動時間 計 21時間 （途中休憩 320）

新松田から昼すぎのバスにゆられ、ゆったり気分で西丹沢のキャンプ場に向かった。山支度の客はほかにいない。地元の人らが時々乗り降りするだけの車内の空気は弛緩している。

「西丹沢ビジターセンター。終点です」

100メートルほど先がキャンプ場だ。河原に張ったテントから山際に沈む夕日をながめ続けていた。こんな時、バーナーで暖めた酒は、なんでも美酒になる。

翌日未明、まだ暗い。夜が明けるころ、ツツジ新道のミツマタが群



落するところに出た。枯れた山肌のなかで一際目立って見事だ。

檜洞丸に向かって急登をたどるうち日が差してきた。「チチチーチ、チチーチィ」鳥同士の鳴き声が賑やかになってきた。名前はちっとも聞き分けられない。「ピー」「ピーー」と鹿も声を交わしている。「朝だ、朝日だ」と言っているのか。

今年は雪が無く、足運びが軽い。檜洞丸から先も雪がなく、水の補給が

心配になっていた。神ノ川乗越で沢まで降り、汲んで来るか。途中、北側斜面にわずかに消え残った雪があった。「大丈夫だな、まだ先にもあるんじゃないか」と、それを当て込むことにした。臼ヶ岳の肩まで休みなしに三時間、きつかった。蛭ヶ岳を超え、棚沢の頭を過ぎたあたりで、氷を集めた。木から落ちてきたやつなので、透明だが木くず混じりだ。

ビバーク地にした所に寝床をつくった。ひとまず落ち着いて、さっそく、その氷のオンザロック。上澄みをすすり込むのが難しい。小枝や葉が混ざる。「ペッペッ」

翌日も未明に歩き始める。雪はなく 12本爪アイゼンもただの重しだ。

三ノ塔のちょっとした上りを超えるとヤビツ峠に着く。いつも寄る峠の茶屋で冷凍ミカンを見つけた。ストーブの湯で溶かしてもらったシャーベット状をたてつづけに 3 個食らった。生き返る。

最後、大山の上りだ。25 丁目まで一息に歩き続けるのも少しくつかった。

下社の土産物屋。いつもの一番下手にある店のテーブル席で温豆腐をいただく。青唐ゆず味噌がきいてうまい。「おかわりお願いします」

お土産にも二つ。蔭の薑も二つ。瓶にきちきちに詰めてある。けちくさくないのがいいね。

